

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2006-98968(P2006-98968A)

【公開日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-287492(P2004-287492)

【国際特許分類】

<b>G 0 9 B</b>	<b>19/06</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 F</b>	<b>3/16</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 F</b>	<b>17/21</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 9 B</b>	<b>5/06</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 1 0 L</b>	<b>13/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 1 0 L</b>	<b>13/06</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

G 0 9 B	19/06	
G 0 6 F	3/16	3 3 0 C
G 0 6 F	17/21	5 6 4 P
G 0 9 B	5/06	
G 1 0 L	13/00	1 0 0 B
G 1 0 L	13/00	1 0 0 G
G 1 0 L	13/00	1 0 0 K
G 1 0 L	13/06	2 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月15日(2007.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の単語からなるテキストデータを記憶するテキストデータ記憶手段と、  
前記テキストデータ記憶手段に記憶されているテキストデータを音声情報で出力する音声  
出力手段と、

テキストデータを表示する表示手段と、

前記音声出力手段から音声情報が出力されているとき、ユーザーからの指示を入力させる  
ための指示手段と、

前記指示手段により指示されたときに出力されている音声情報に対応するテキストデータ  
を前記テキストデータ記憶手段から読み出して前記表示手段に表示する表示制御手段とを  
備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

複数の単語からなる文章データのテキストデータを記憶するテキストデータ記憶手段と、  
前記テキストデータを読み出してそのテキストデータに対応する音声情報を合成する音声  
合成手段と、

前記合成した音声情報を出力する音声出力手段と、

テキストデータを表示する表示手段と、

前記音声出力手段から音声情報が出力されかつその音声情報に対応するテキストデータが

表示手段に表示されていない状態で、ユーザーからの指示を入力させるための指示手段と、

単語ごとに難易度を記憶する難易度記憶手段と、

前記指示手段により指示されたときに出力されている音声情報に対応するテキストデータを前記テキストデータ記憶手段から読み出して前記表示手段に表示し、難易度の高い単語を他の単語と判別可能に表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 3】**

複数の単語からなる文章データのテキストデータを記憶するテキストデータ記憶手段と、前記テキストデータを読み出してそのテキストデータに対応する音声情報を合成する音声合成手段と、

前記合成した音声情報を出力する音声出力手段と、

前記音声出力手段から音声情報が出力されるテキストデータを表示する表示手段と、

前記音声出力手段から音声情報が出力されかつその音声情報に対応するテキストデータが前記表示手段に表示されている状態で、ユーザーからの指示を入力させるための指示手段と、

単語ごとに難易度を記憶する難易度記憶手段と、

出力された音声情報に対応するテキストデータが前記表示手段に表示されている状態で、前記指示手段によって指示された場合に、表示されているテキストデータに含まれる難易度の高い単語と他の単語とを判別可能に前記表示手段に表示させる表示制御手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 4】**

音声情報を記憶した音声データ記憶手段を備え、前記記憶された音声情報は、2つの文章データの間に分離情報を有することを特徴とする請求項1乃至3記載の情報処理装置。

**【請求項 5】**

音声情報が出力されている際に、2つの文章データの間に分離情報を検出する分離情報検出手段をさらに備え、

前記表示制御手段が、分離情報検出手段が検出した分離情報のうち前記指示手段による指示が入力された時点の直前の分離情報を抽出し、その抽出された分離情報の後方に記憶された1つの文章データに対応するテキストデータを、前記テキストデータ記憶手段から読み出して表示手段に表示させることを特徴とする請求項4記載の情報処理装置。

**【請求項 6】**

前記表示手段に表示されるテキストデータが、前記抽出された分離情報の直前および直後の文章データに対応する2つのテキストデータであることを特徴とする請求項5記載の情報処理装置。

**【請求項 7】**

単語ごとに、第1言語および第2言語の情報を対応づけて複数記憶する単語記憶手段と、

前記指示手段によって指示されたテキストデータが第1言語で表示されるとき、そのテキストデータの中の任意の単語を指定する単語指定手段とをさらに備え、前記第1言語の情報が各単語の表記を含み、前記第2言語の情報が各単語の第2言語の意味情報を含み、前記表示制御手段が、前記単語指定手段によって指定された単語の第2言語の情報を表示手段に表示することを特徴とする請求項1乃至6記載の情報処理装置。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0006

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0006】**

この発明は、複数の単語からなるテキストデータを記憶するテキストデータ記憶手段と、前記テキストデータ記憶手段に記憶されているテキストデータを音声情報で出力する音

声出力手段と、テキストデータを表示する表示手段と、前記音声出力手段から音声情報が出力されているとき、ユーザーからの指示を入力させるための指示手段と、前記指示手段により指示されたときに出力されている音声情報に対応するテキストデータを前記テキストデータ記憶手段から読み出して前記表示手段に表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置を提供するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、この発明は、複数の単語からなる文章データのテキストデータを記憶するテキストデータ記憶手段と、前記テキストデータを読み出してそのテキストデータに対応する音声情報を合成する音声合成手段と、前記合成した音声情報を出力する音声出力手段と、テキストデータを表示する表示手段と、前記音声出力手段から音声情報が出力されかつその音声情報に対応するテキストデータが表示手段に表示されていない状態で、ユーザーからの指示を入力させるための指示手段と、単語ごとに難易度を記憶する難易度記憶手段と、前記指示手段により指示されたときに出力されている音声情報に対応するテキストデータを前記テキストデータ記憶手段から読み出して前記表示手段に表示し、難易度の高い単語を他の単語と判別可能に表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置を提供するものである。これによれば、ユーザの意思で、音声出力されていた文章の表示とともに、難易度の最も高い単語を視覚的にわかりやすい形態で表示できるので、ヒアリング学習などをする利用者の利便性および操作性を向上させることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、この発明は、複数の単語からなる文章データのテキストデータを記憶するテキストデータ記憶手段と、前記テキストデータを読み出してそのテキストデータに対応する音声情報を合成する音声合成手段と、前記合成した音声情報を出力する音声出力手段と、前記音声出力手段から音声情報が出力されるテキストデータを表示する表示手段と、前記音声出力手段から音声情報が出力されかつその音声情報に対応するテキストデータが前記表示手段に表示されている状態で、ユーザーからの指示を入力させるための指示手段と、単語ごとに難易度を記憶する難易度記憶手段と、出力された音声情報に対応するテキストデータが前記表示手段に表示されている状態で、前記指示手段によって指示された場合に、表示されているテキストデータに含まれる難易度の高い単語と他の単語とを判別可能に前記表示手段に表示させる表示制御手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置を提供するものである。

ここで、前記音声データ記憶手段に記憶されている音声情報は、2つの文章データの間に分離情報を有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】